

神奈川県と静岡の県境をまたぐ道路 (伊豆湘南道路)に関する委員会

神奈川県 静岡県

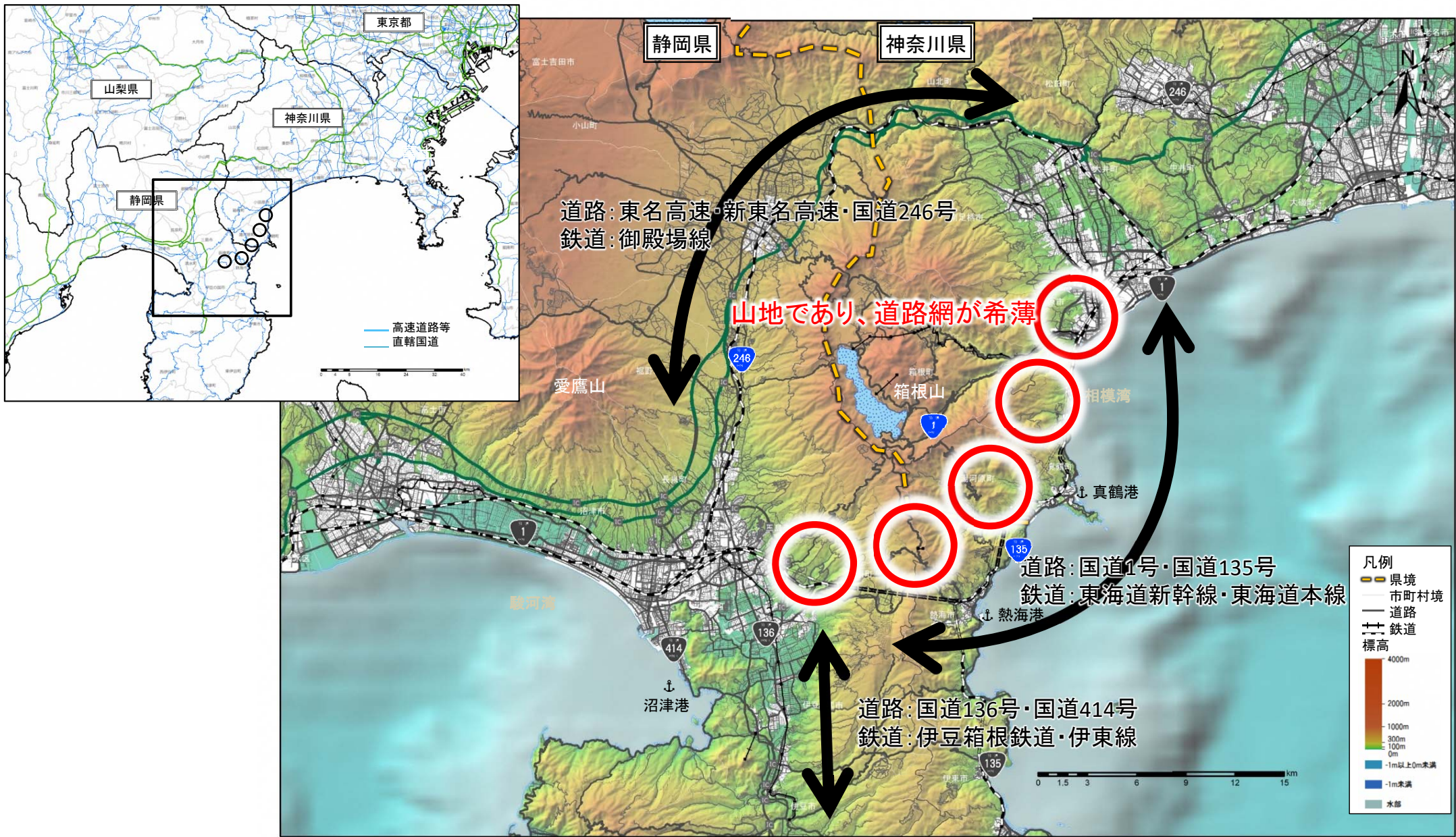
【日時】令和3年6月30日(水)13:30~14:30

【場所】静岡県庁(別館9F 第2特別会議室)

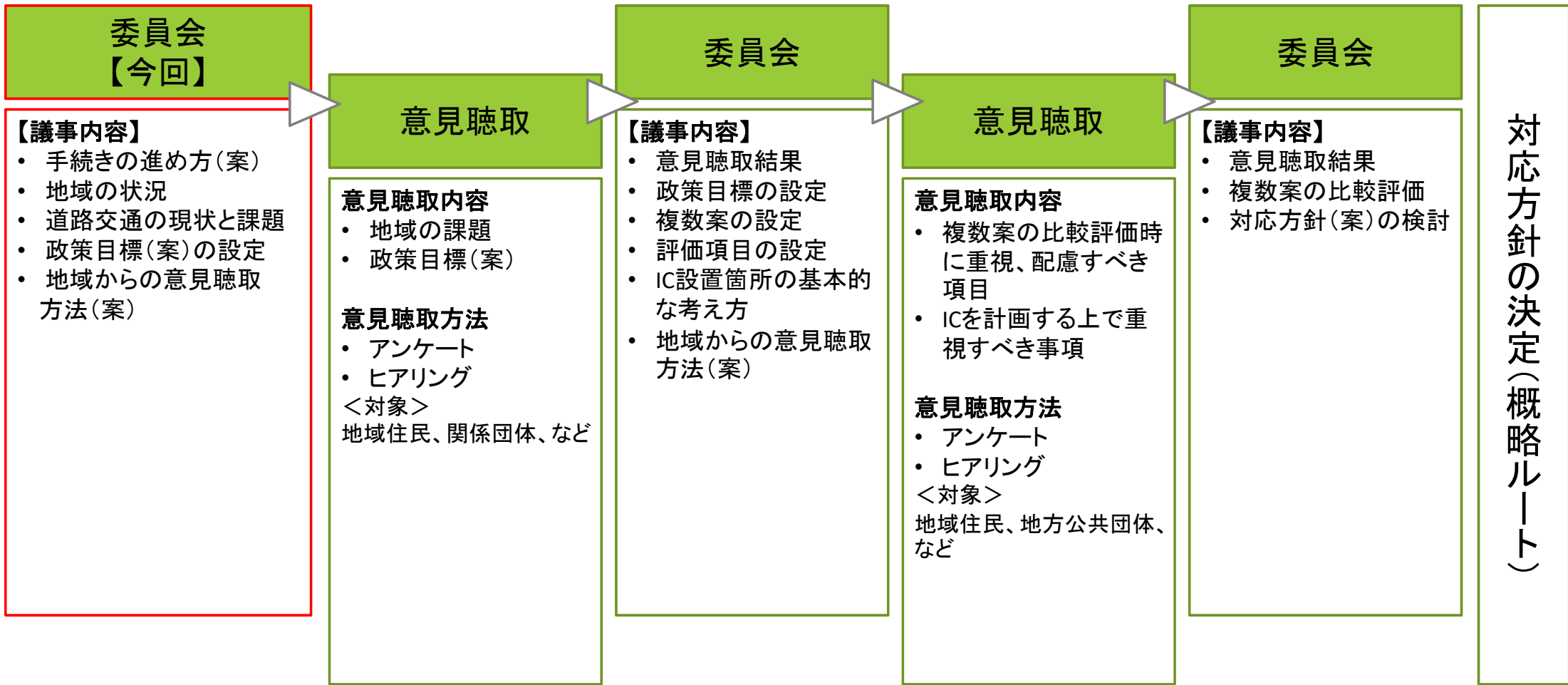
1. 対象区間
2. 手続きの進め方(案)
3. 地域の状況
4. 道路交通の現状と課題
5. 政策目標(案)の設定
6. 意見聴取方法(案)

1 対象区間

- 評価対象区間は、神奈川県西部から静岡県東部の約30kmの区間である
- 箱根山の裾野であるため、急峻な山地と相模湾に挟まれている地域である



2 手続きの進め方(案)

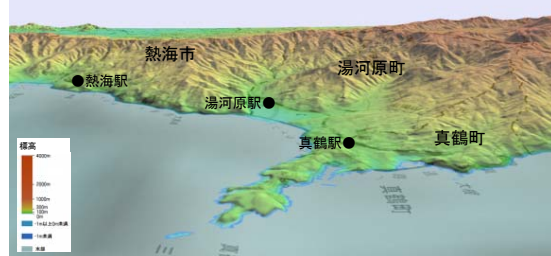
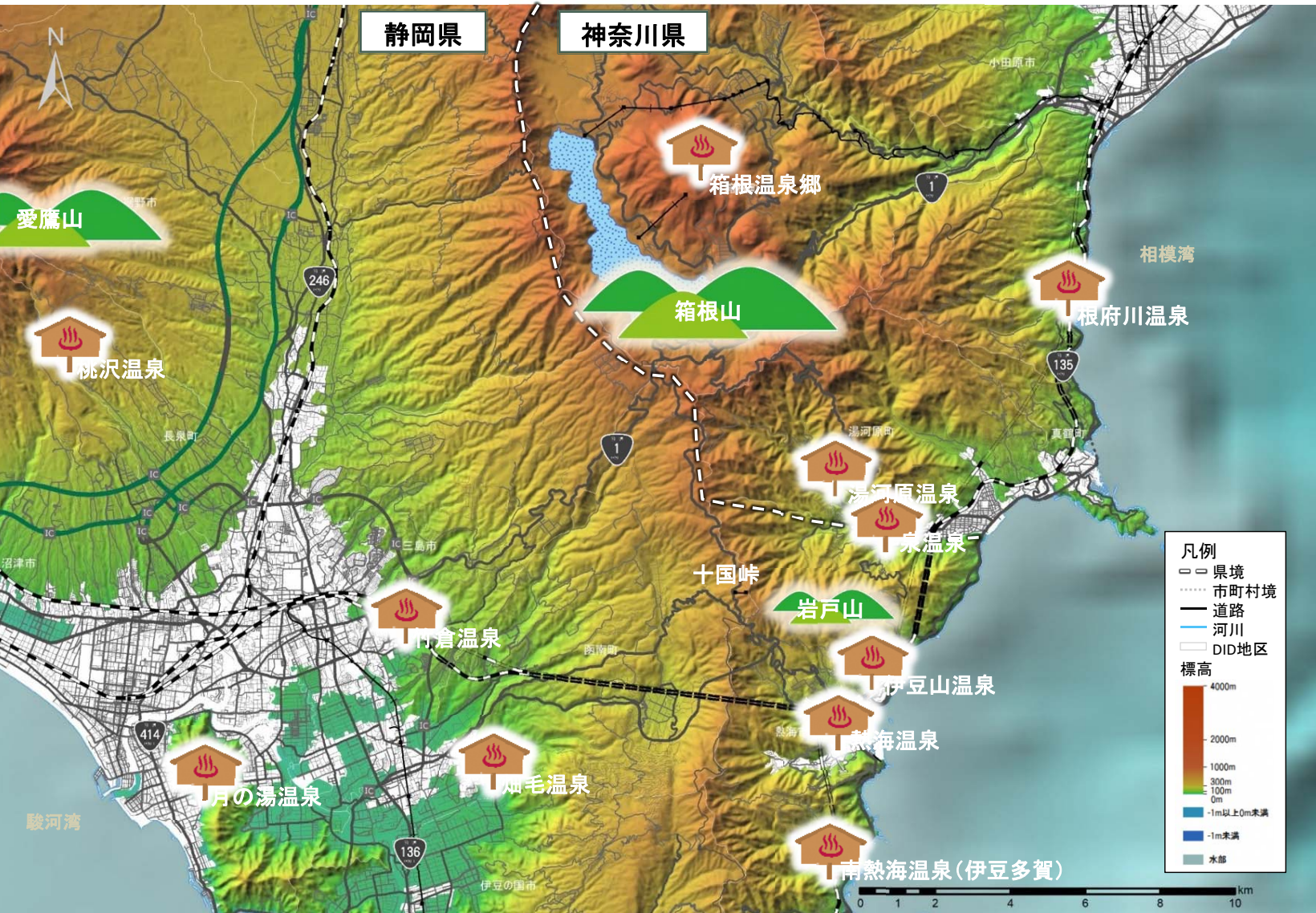


※意見聴取の状況等により、委員会を追加開催する可能性もある

3 地域の状況 ①自然・土地利用

- 神奈川・静岡県境地域は、600m～1000m級の箱根山地と相模湾に挟まれた狭隘な地域である
- 狭隘な地域には活火山である箱根山からの温泉による観光地が発展している
- 温泉地は、首都圏などからの鉄道の利便性も高く、歴史的な人物や著名な文人に愛された地域性、個性豊かな温泉郷が豊富な点から知名度も高い

【周辺地域における自然・土地利用状況】



狭隘な地域(湯河原町～熱海市)

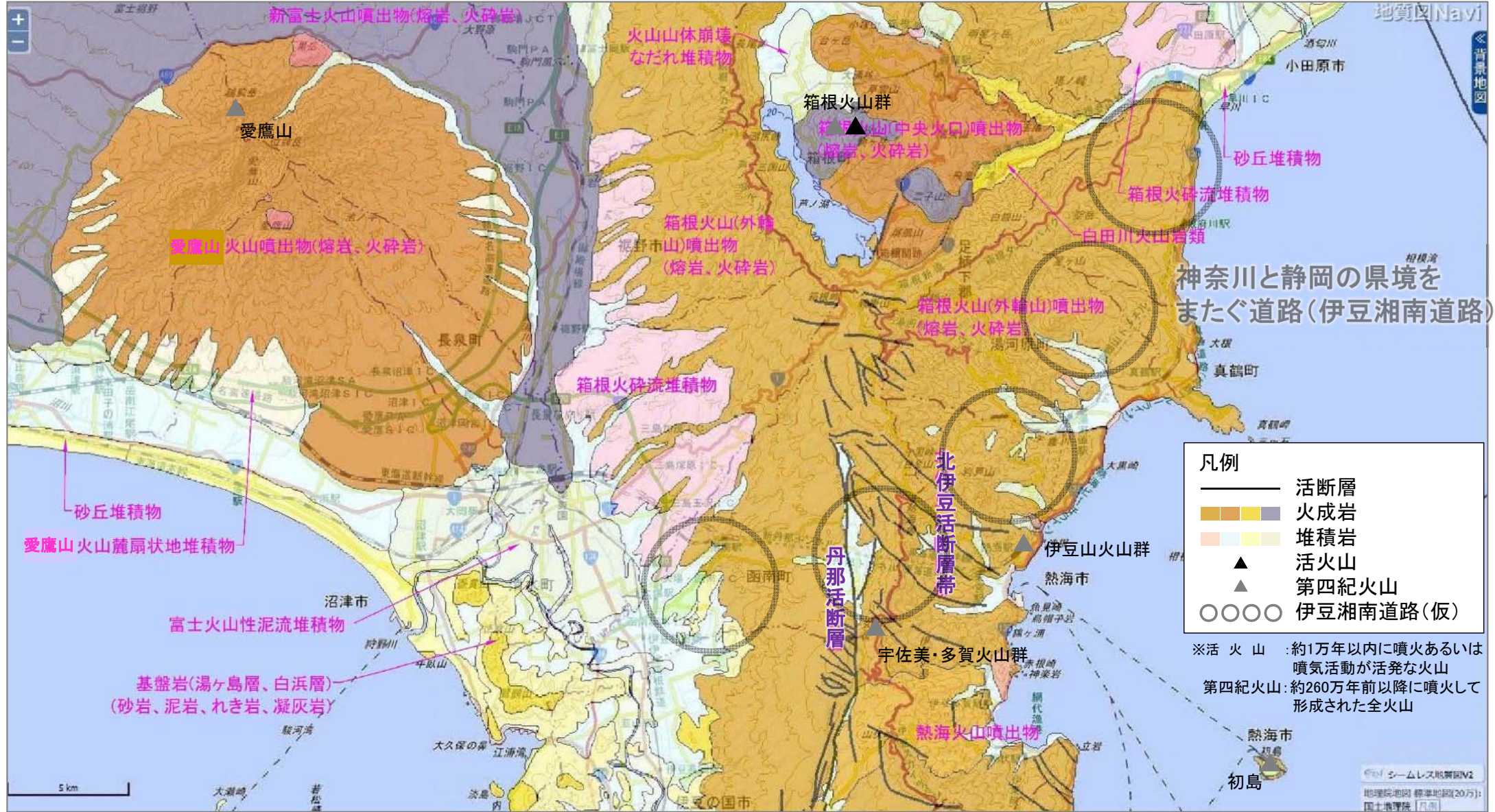


交通利便性が高く温泉が点在する(熱海駅前 足湯)

3 地域の状況 ①自然・地質

- 神奈川～静岡県境の地質は火山性噴出物(溶岩、火砕岩)が卓越している
- 伊豆半島の成り立ちに起因して、南北方向に多くの活断層がみられる

【神奈川と静岡の県境地域の地質】



出典:5万分の1地質図幅「シームレス地質図V2」GISデータ(産総研地質調査総合センター)(<https://gbank.gsj.jp/geonavi/>)を使用し、加筆修正したものである

3 地域の状況 ②交通網

- 伊豆湘南地域は山地が多く、東西方向の交通は東名・新東名高速道路と国道246号、国道1号、関東方面と伊豆方面を結ぶ交通は国道135号、沼津方面と伊豆方面を結ぶ交通は国道136号、国道414号と主要な路線は限られている
- 鉄道は、東海道新幹線及び東海道本線が相模湾沿いに整備されており、御殿場線が箱根山の北側を通り東西を結んでいる。伊豆半島への鉄道は相模湾側を伊東線+伊豆急行が下田まで、三島から伊豆までは伊豆箱根鉄道が整備されている。

【周辺地域における交通網の整備状況】



写真① 国道135号(湯河原町吉浜)



写真② ターンパイク箱根(小田原市早川)



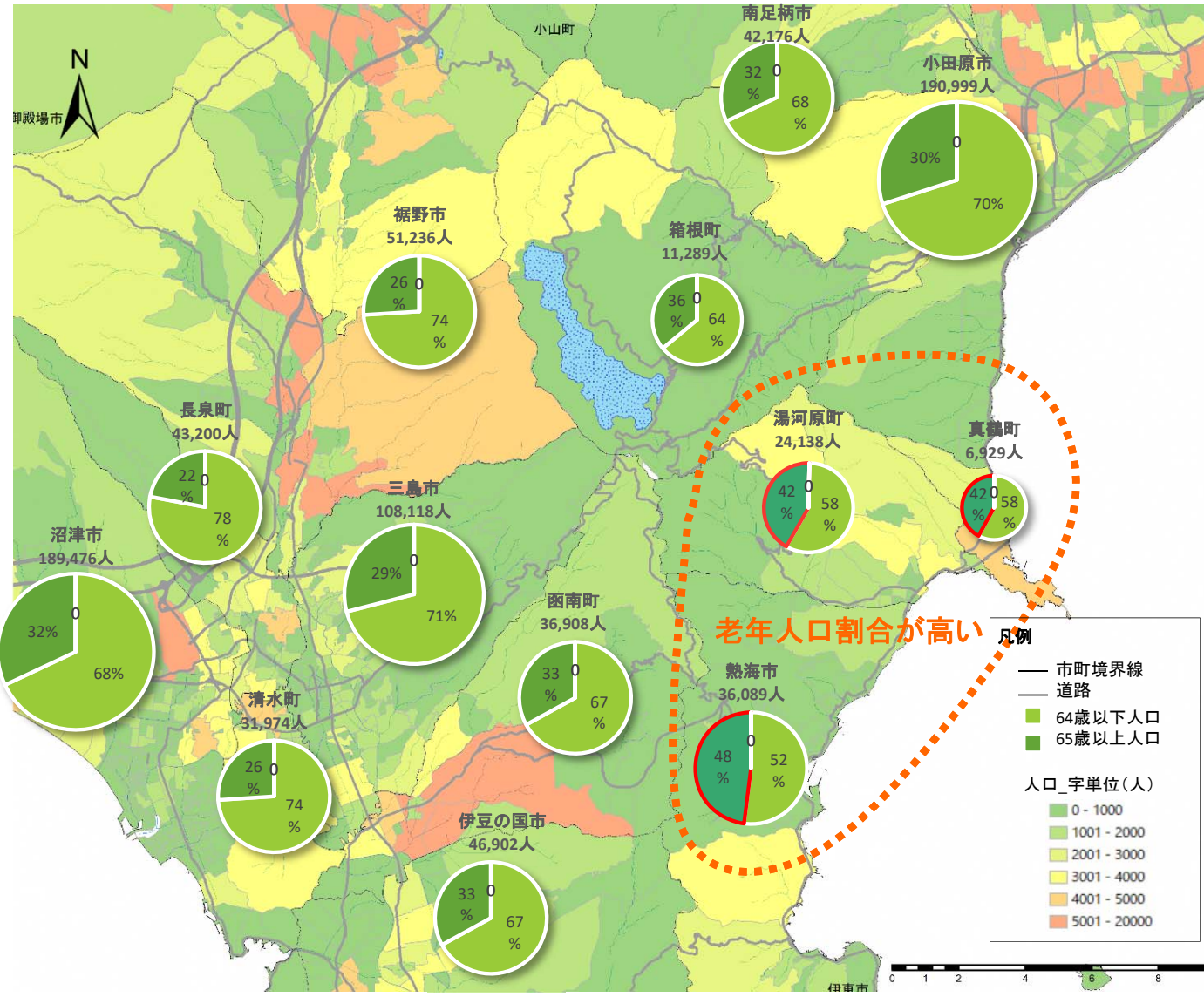
写真③ 国道1号(函南町桑原)



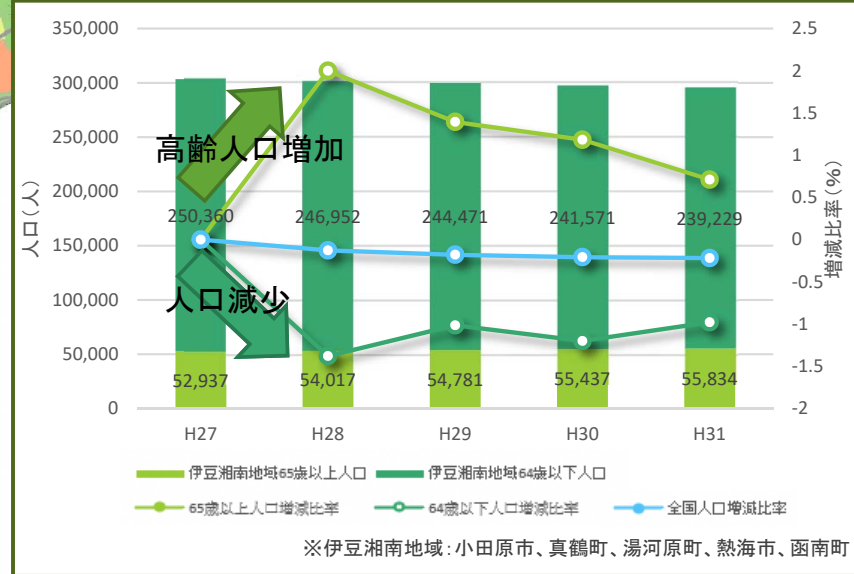
3 地域の状況 ③人口

- 伊豆湘南地域の人口は全国と比較しても減少傾向にある
- 真鶴・湯河原・熱海は老年人口が40%以上と高い
- 転入者の推移は、横ばい又は微減している。(コロナ禍で今後の動向に注目)
- 伊豆湘南道路の整備により、移住・定住者の増加が期待される

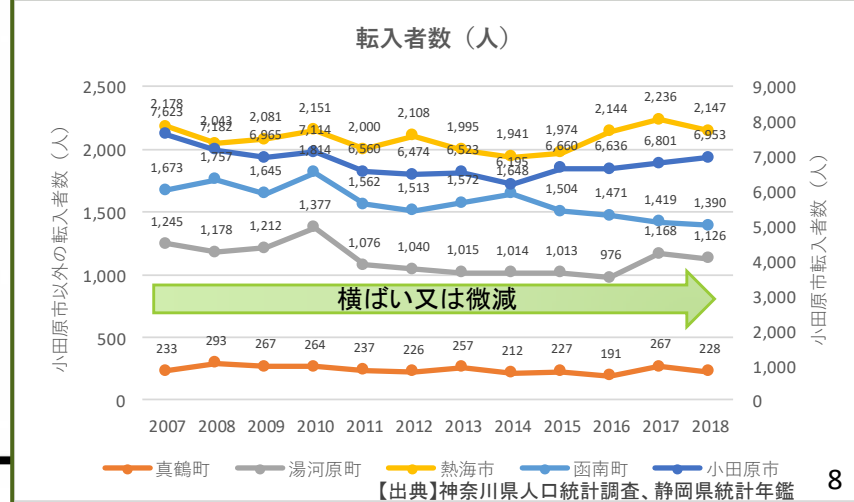
【周辺地域における人口分布状況】



■人口の推移(全国比較)



■転入者の推移



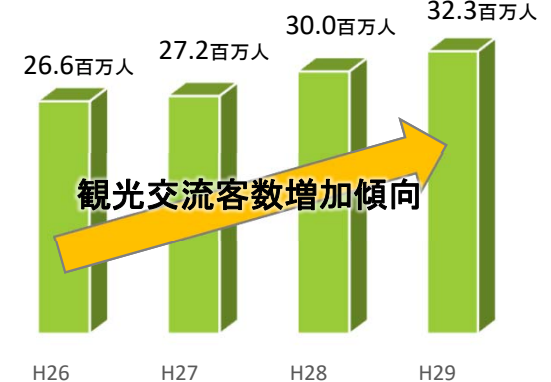
3 地域の状況 ④観光地

- 伊豆湘南地域は小田原城や三嶋大社、熱海温泉など豊富な観光資源を有する
- H30.4月に伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定され、入り込み客数も増加傾向であり今後もさらなる観光需要が期待される
- 伊豆湘南地域は第3次産業従事者割合が7割を超える
- 伊豆湘南地域は、観光交流客数が近年増加傾向にあり、伸び率が大きい

【主要観光地の分布状況】

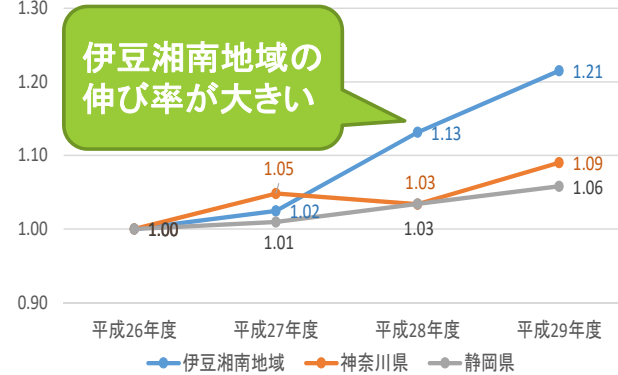


観光交流客数の推移



小田原市、真鶴町、湯河原町、沼津市、三島市、熱海市、函南町、長泉町

観光交流客数の伸び率



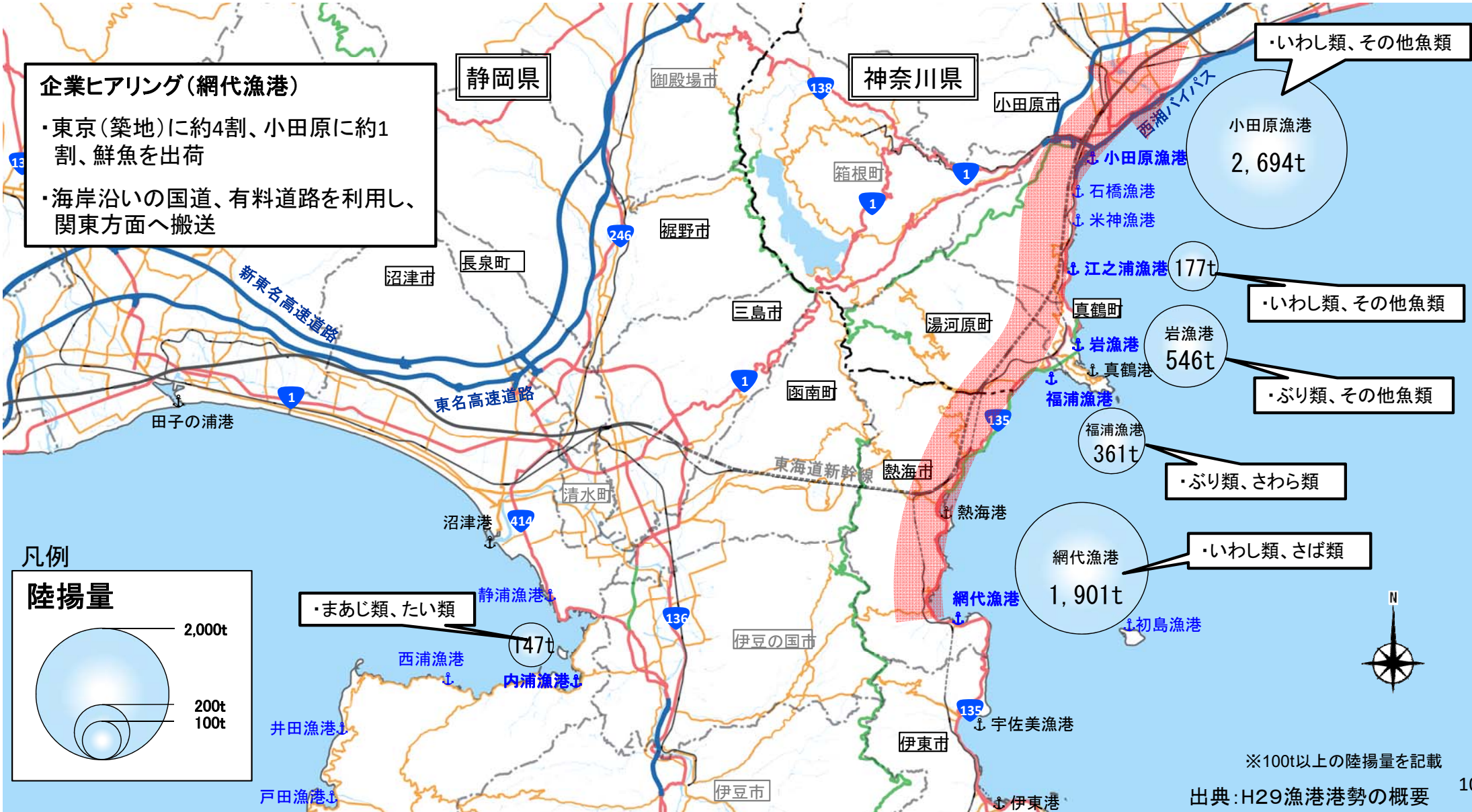
出典: 神奈川県HP 『平成30年神奈川県入込観光客調査』、静岡県HP 『静岡県観光交流の動向』

H29年度各自治HPから 入込状況等

3 地域の状況 ⑤主な産業 漁業

- 神奈川・静岡県境地域の陸揚量は約6,001t(全国シェア約1.7%)であり国道135号を利用し、出荷している
- 伊豆湘南道路の整備により、出荷量の増加及び静岡県側への市場拡大が期待される

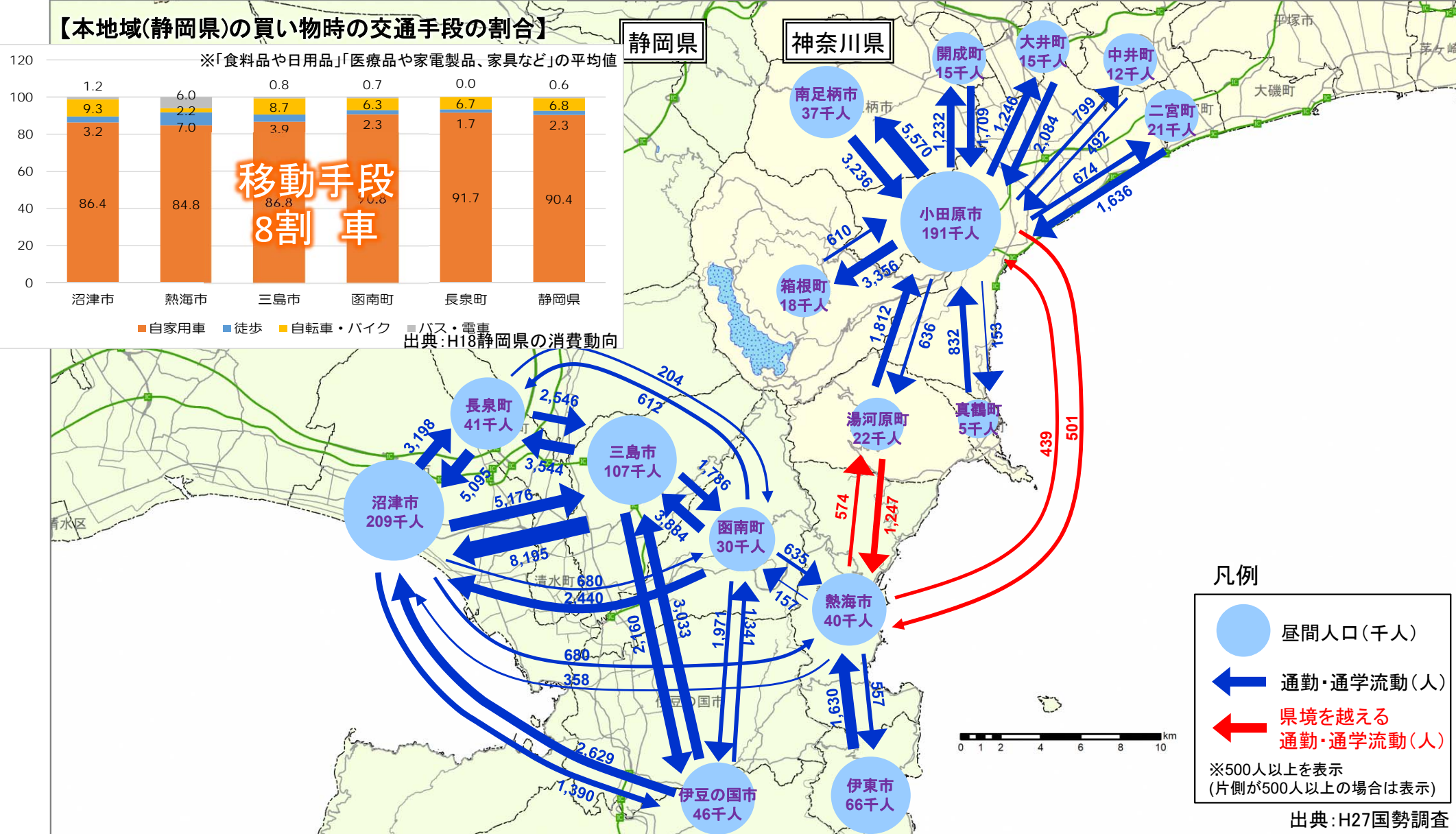
【周辺地域における陸揚量(漁港)の状況】



3 地域の状況 ⑥人々の移動

- 神奈川・静岡県境地域において、静岡県内の通勤・通学は多く、熱海市、湯河原町では県境を超えた通勤・通学もみられる
- 買い物時の交通手段は自家用車が8割以上を占める
- 伊豆湘南道路の整備により、県境を超えた広域的な交流が期待される

【周辺地域における昼間人口・通勤通学流動状況】

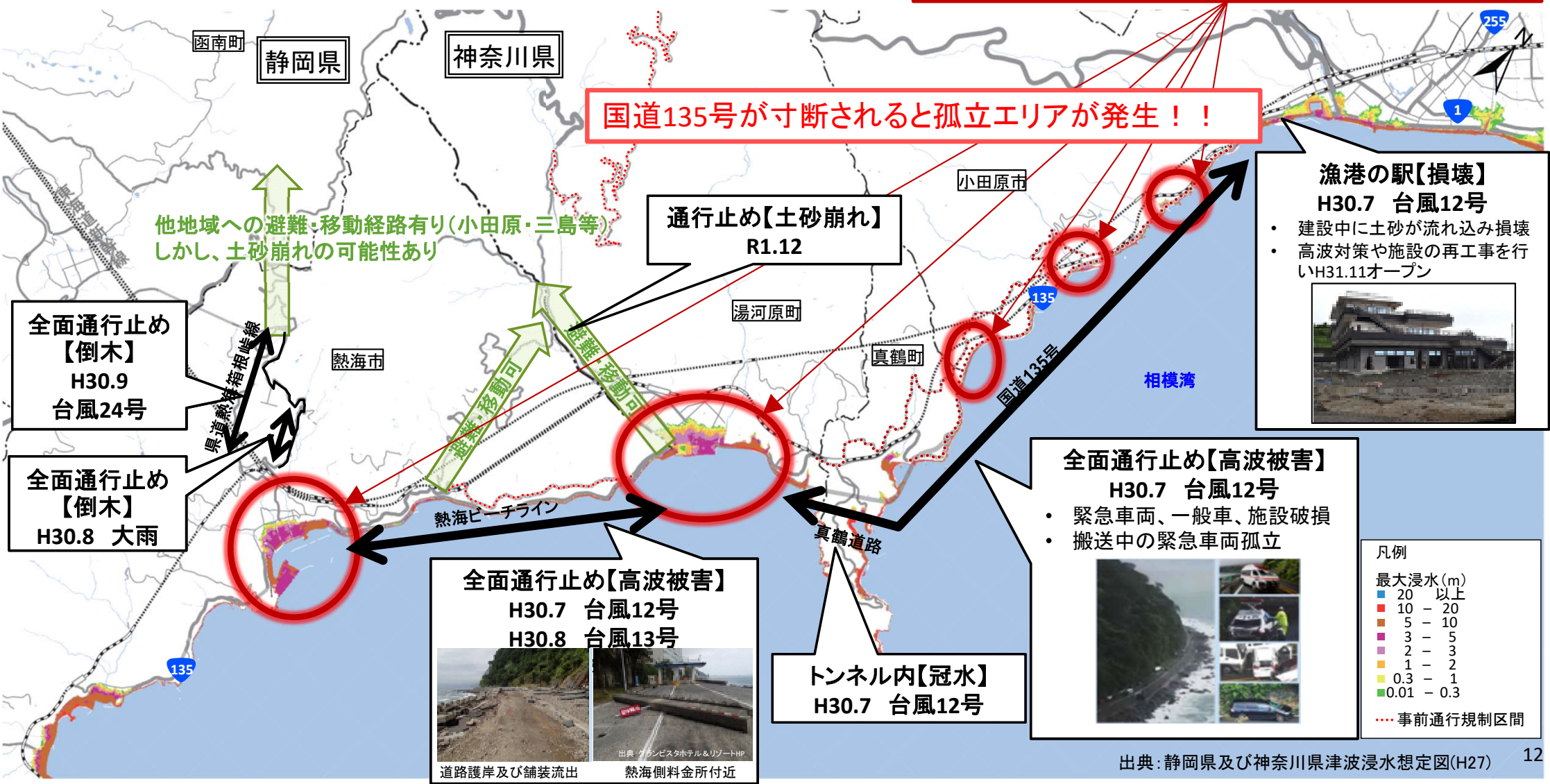


4 道路交通の現状と課題 ①災害 (高波・津波)

- 緊急輸送路に指定されている国道135号は、巨大地震の発生時の津波により一部の道路が浸水、寸断が想定されており、災害時のネットワークとしての機能発揮が懸念される
- 熱海・湯河原からは西に向かうことにより三島・小田原などに移動可能であるが、真鶴・根府川周辺は135号が寸断されると、孤立するエリアが発生

【津波浸水想定図】

今後も津波・高波による道路寸断が想定される



凡例

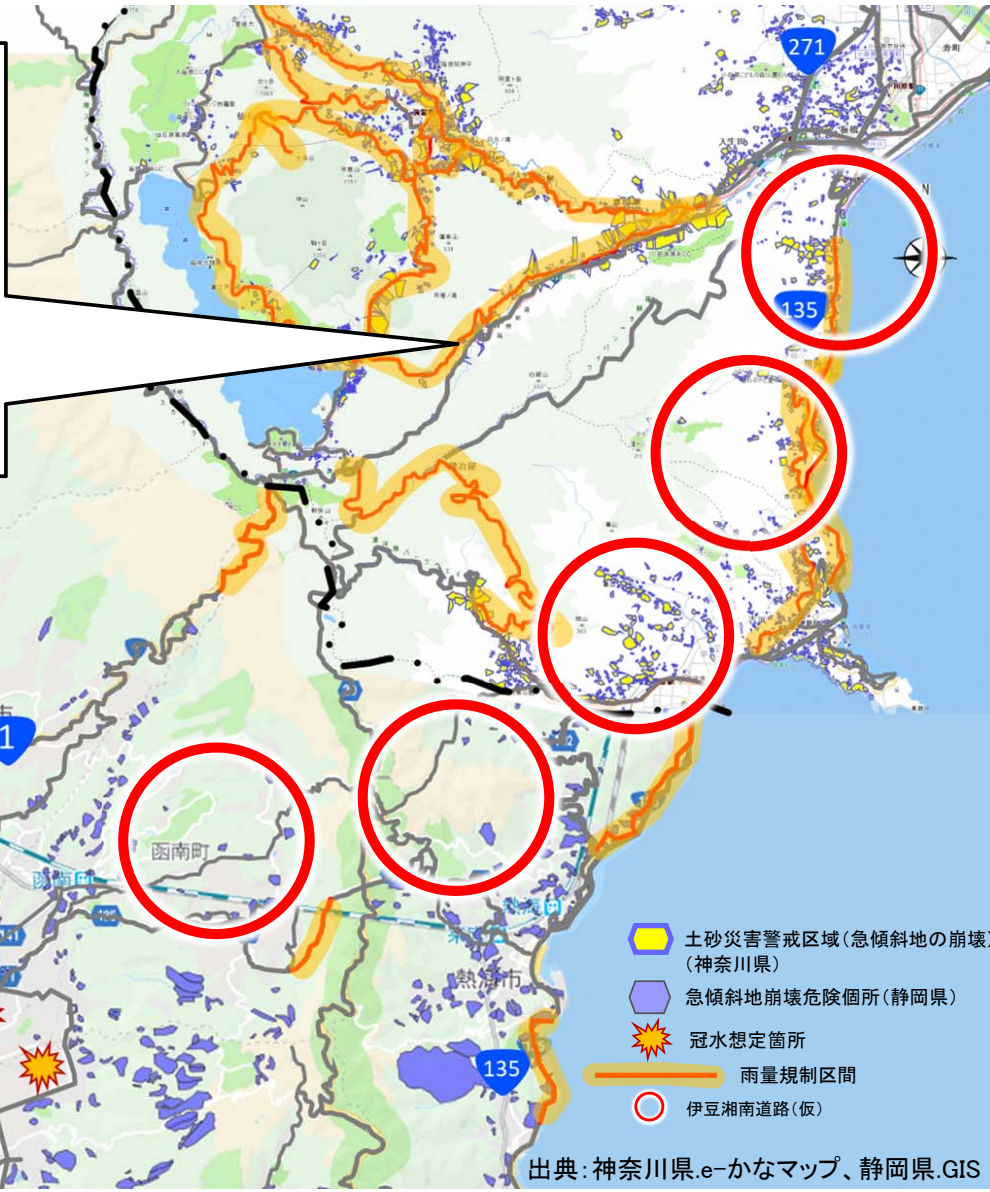
最大浸水(m)
20 以上
10 - 20
5 - 10
3 - 5
2 - 3
1 - 2
0.3 - 1
0.01 - 0.3

..... 事前通行規制区間

4 道路交通の現状と課題 ①災害 (大雨・大雪・噴火)

- 国道1号、135号等では、雨量規制区間が存在
- 災害発生時や冬季積雪時には、神奈川県と静岡県を結ぶ道路が通行止めが発生しやすい

【周辺地域の災害時脆弱箇所】



【富士山 溶岩流・降灰可能性マップ】



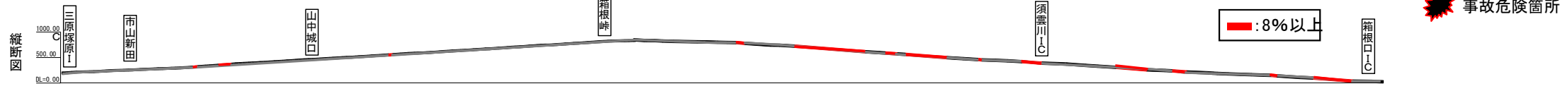
【箱根山の防災マップ】



4 道路交通の現状と課題 ②事故

■ 神奈川・静岡県境地域の主要な幹線道路となる国道1号は、平面線形不良箇所や縦断勾配約8%の急勾配区間が連続しており、他の路線と比べても事故発生件数が多い

【国道1号における事故発生状況】



出典: H25～H28交通事故統合データベース

4 道路交通の現状と課題 ②事故

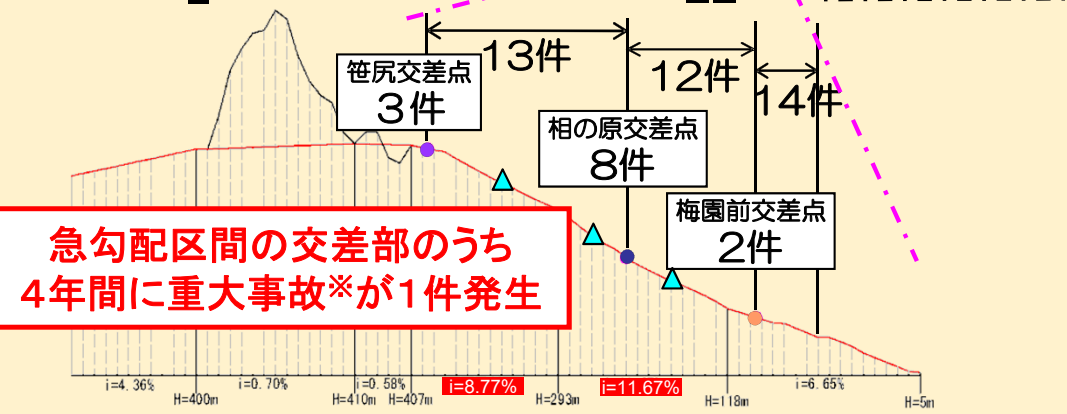
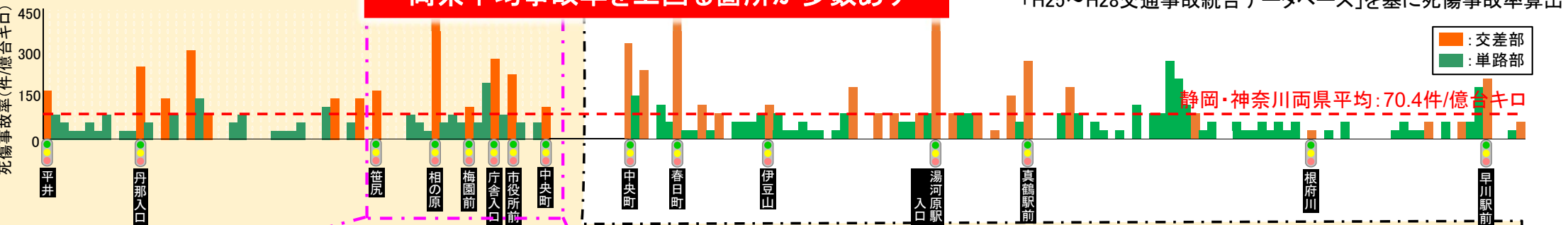
■ 熱海市や小田原市などのアクセス道路となる県道熱海函南線や国道135号においても、線形不良区間が連続しており、事故が多発している

【県道熱海函南線及び国道135号における事故発生状況】



両県平均事故率を上回る箇所が多数あり

「H25～H28交通事故統合データベース」を基に死傷事故率算出



県道熱海函南線の事故状況



*重大事故＝死亡事故＋重傷事故(重傷とは全治1ヶ月以上のけが)

4 道路交通の現状と課題 ③所要時間 救急医療

■ 神奈川・静岡県境地域において、第3次救急医療施設まで30分以上を要する地域(熱海市・湯河原町)がある

【主要拠点(医療)圏域分析】



4 道路交通の現状と課題 ④渋滞

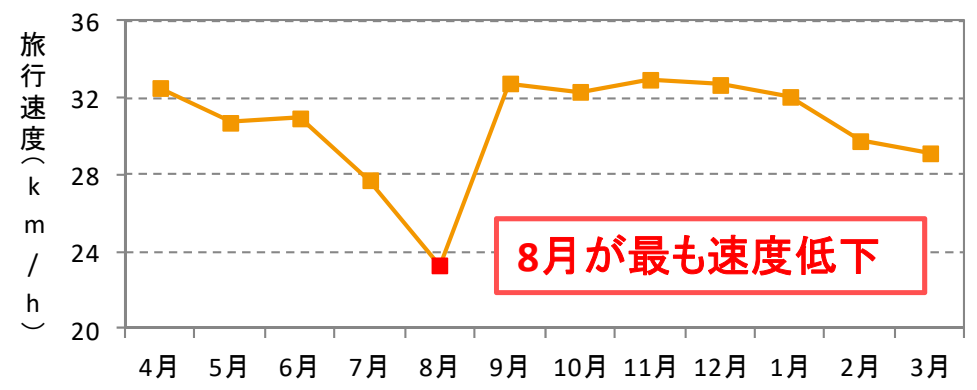
- 神奈川・静岡県境地域の市街地では主要渋滞箇所が点在しており、観光期の8月において、主要幹線道路を中心に走行車両の速度低下が発生、時間信頼性が低い
- 国道1号では三島市街、箱根峠、小田原市街、国道135号では熱海市街、湯河原市街、小田原市街において、速度低下が顕著であり深刻な渋滞が発生
- 物流にも影響を与えており、配送時間の長期化が問題である

【8月休日の旅行速度図】

- 国道135、1号を利用する農業者は慢性的な渋滞による遅れを見込んで配送時間を設定している
- 出荷時間やカーブの多い道を通るとストレスにより出荷用の牛が死亡する場合がある
- 国道135の渋滞が酷い時は有料道路(ターンパイクなど)を利用している



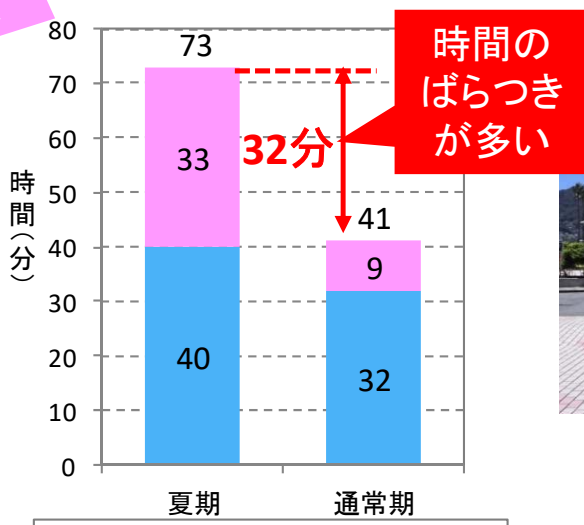
【国道135号の休日旅行速度】



8月が最も速度低下

出典:ETC2.0プローブ情報(H29.4~H30.3休日)昼間12h平均旅行速度
※湯河原温泉入口交差点(県境)から中央町交差点までを対象

【小田原市～熱海市の時間信頼性】



時間のばらつきが多い



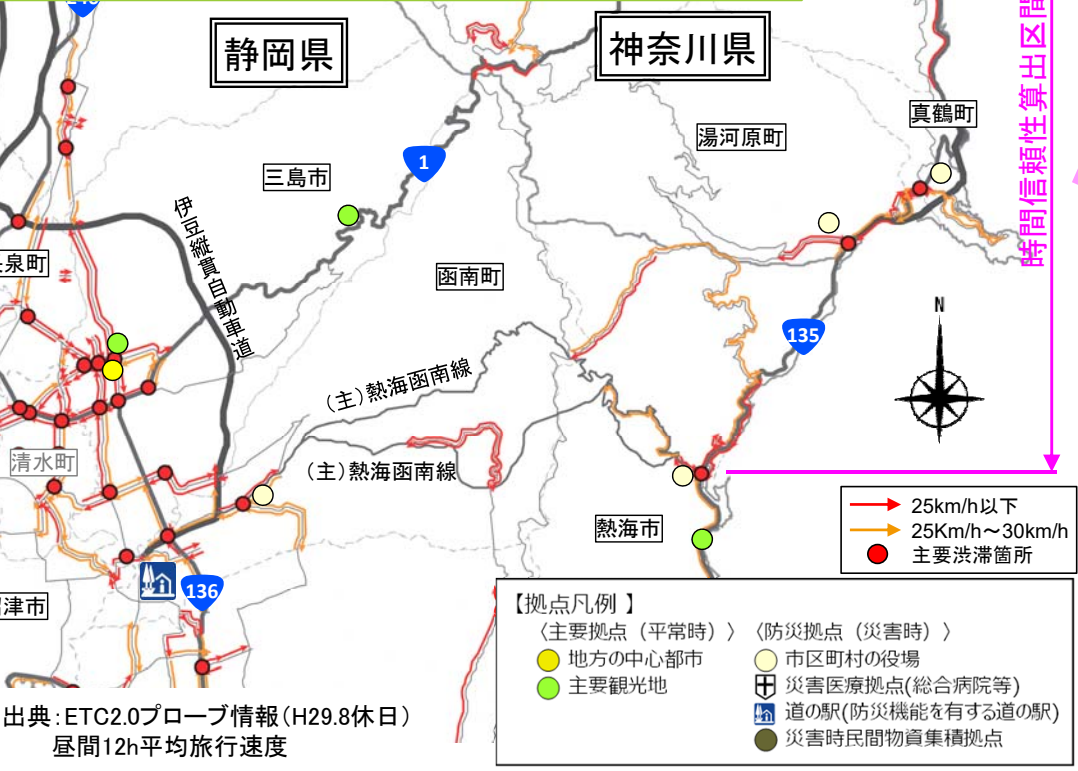
国道135号(熱海市)の渋滞状況

至 伊東市

至 小田原市

資料:H28年7月30日 撮影

出典:国土交通省提供データ
※集計期間 夏期:H29.7~8月(休日) 通常期:H29.10月(休日)
※西湘バイパス・石橋IC→中央町交差点までを対象



出典:ETC2.0プローブ情報(H29.8休日) 昼間12h平均旅行速度

4 地域の状況 —新しい生活様式—

■ 移住・ワーケーション増加

新型コロナウイルスの影響により、リモートワークを導入する企業が増加し、自宅に環境が整っていれば居住地の選択範囲が広がるといった思考から、地方移住やワーケーションへの注目が集まっている。

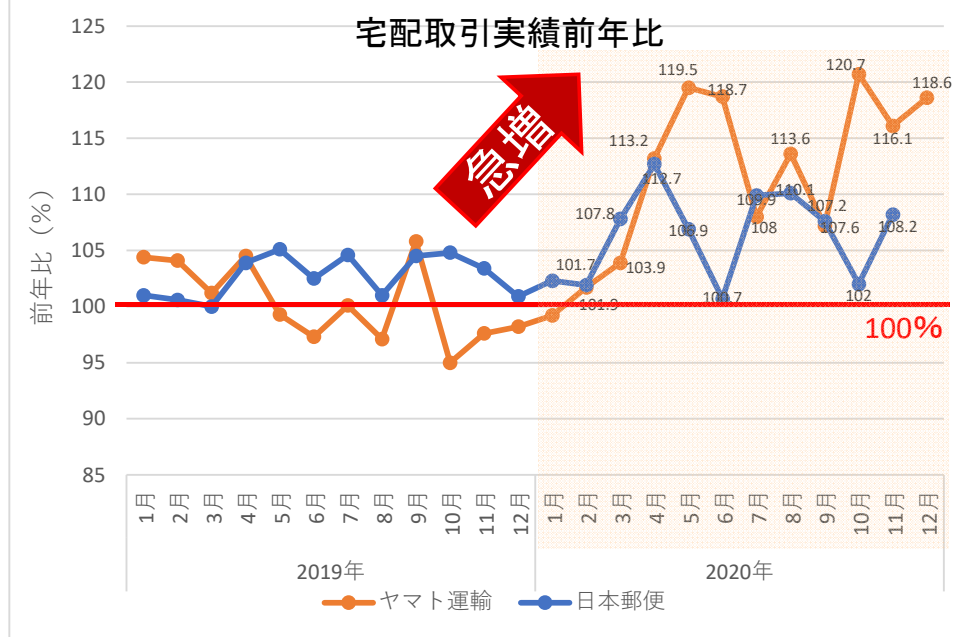
週に1.2回東京の会社に行ければいいので移住を考え始めました

山梨 100km圏内 東京 千葉 神奈川

[2020年移住希望地域ランキング]:
静岡県第1位(各年代で5位以内、毎年ランクイン)
[コロナ時代に後悔しない移住先ランキング(関東編)コンサル調べ]:湯河原町第4位

■ 宅配取引実績増加

新型コロナウイルスの影響により、宅配の取引量が急増している。外出自粛や、人との接点を減らすために、医薬品や日用品をネットで注文する人が増えていることが要因に挙げられる。



ヤマト運輸、日本郵便HPより

新生活様式に合わせて、「働き方や居住地を変える人」「宅配利用」が増加
当該路線ができることにより、当該地域への移住やワーケーション利用者の増加や
宅配エリア拡充や宅配時間の短縮に寄与することが考えられる

ワーケーションで行ってみたい国内 (コンサル調べ)
1位「高原リゾート」 2位「ビーチリゾート」 3位「温泉地」
伊豆湘南エリアはすべてが兼ね備えているエリアである

当該路線の必要性が高まっている

5 政策目標(案)の設定(地域の将来像)

■ 総合的な計画、ヒアリング等から整理できる伊豆湘南地域の将来目指すべき方向(理念・目標像)

- 【国土グランドデザイン2050】
- 【国土強靱化計画】
- 【国土形成計画】
(中部圏広域地方計画)
(首都圏広域地方計画)
- 【静岡県総合計画】
- 【神奈川県総合計画】
- 【富士箱根伊豆交流圏構想】
- 【伊豆半島グランドデザイン】
- 【各市町村総合計画
(静岡県・神奈川県)】

「交流・連携」「暮らし」が共存する「魅力あふれる圏域」の形成

観光振興の促進

- 地域の多彩な観光資源(温泉、食、癒し、産業)を活かした観光客誘致促進として、新たな人気スポットを結ぶ新たな周遊コースの開発及び商品化支援
- 外国人観光客の増加に対応した富士箱根伊豆交流圏としての国際的な観光拠点の形成及び広域的な回遊性を創出する観光ルートの設定

防災対策の強化

- 富士山火山防災対策に関する協定に基づく相互応援体制の円滑な運用を図るため、マニュアル作成などにより体制整備
- 災害リスクの低減として、災害時における道路の多重性・代替性確保のため、緊急輸送道路のネットワークを整備

交通体系の整備促進

- 交通渋滞緩和、物流網の安定性確保・拡大のため一層のリダンダンシーの確保
- 災害時の広域的な緊急輸送道路を充実するため、圏域の骨格となる高規格幹線道路網の形成
- 圏域における観光振興や三次医療施設への確実なアクセス性の確保、自然災害時における住民の安全を確保するため、県境をまたぐ道路の整備

環境対策の促進

- 景観配慮が特に必要となる地域において、公共施設を中心とした民地を含む一体的な魅力ある「公共空間」の景観づくりを実施
- わかりやすい案内表示・標識等、ユニバーサルデザインに配慮した誰もが快適に利用しやすい道路整備を推進
- 多様な自然環境の保全・再生・活用、生物の多様性確保に取り組み、美しい地域づくりを推進

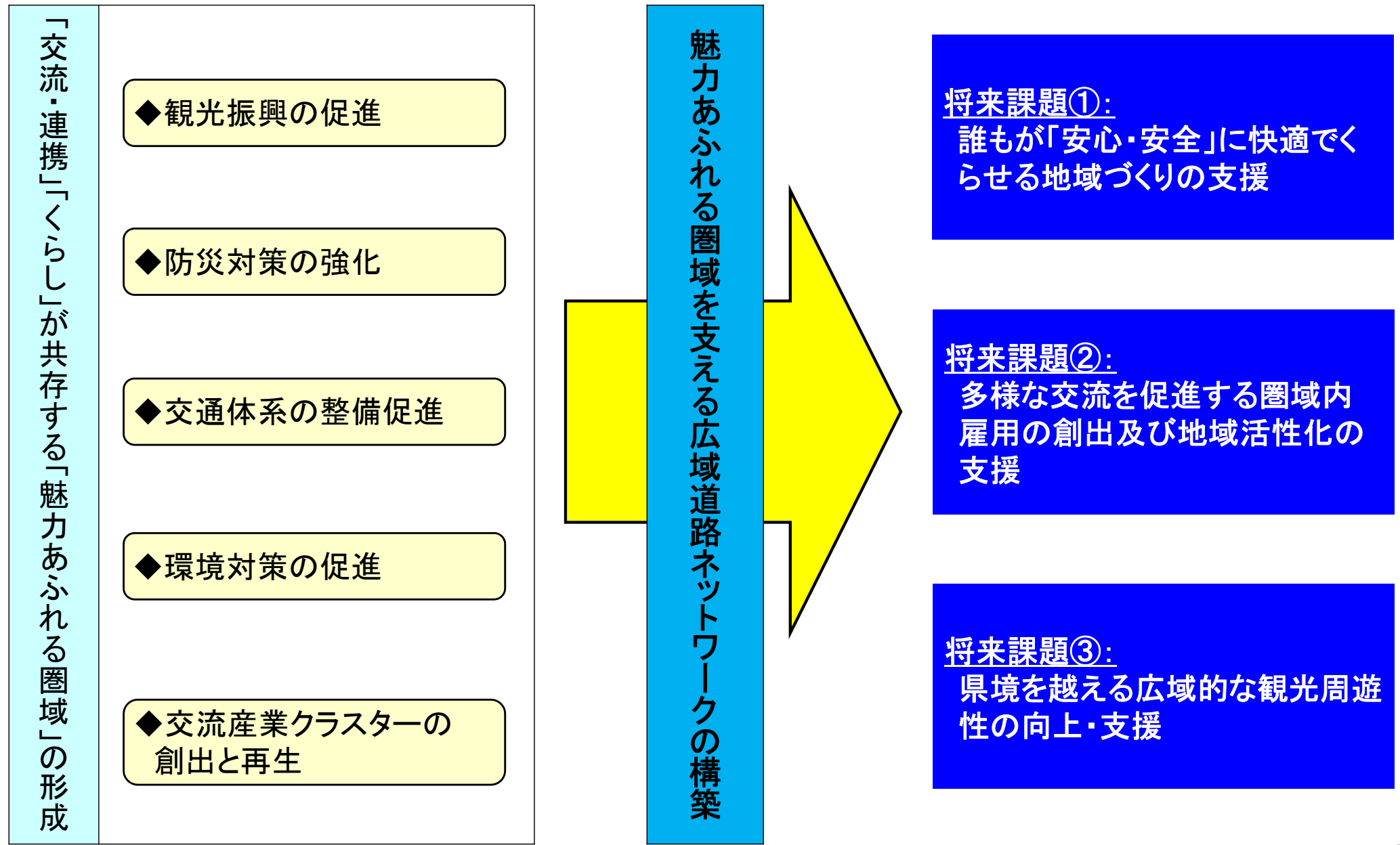
交流産業クラスターの創出と再生

- 交流産業としての連携強化と地域プロジェクトとしての位置づけの明確化
- 地域の特性を活かした産業間相互の連携を促進し、魅力あふれる地域産業を振興

5 政策目標(案)の設定(将来における地域の課題)

【伊豆湘南地域の将来像】

【将来における地域の課題】



5 政策目標(案)の設定

【将来像】

将来課題①: 誰もが「安心・安全」に快適で くらせる地域づくりの支援	将来課題②: 多様な交流を促進する圏域内雇用 の創出及び地域活性化の支援	将来課題③: 県境を越える物流・観光周遊 性の向上・支援
安全・安心な地域づくりの支援	新しい生活様式に合わせた多様な交流・物流の向上	

【現況における課題】

現況課題①: 災害
 災害時における主要
 道路の通行止め

現況課題②: 事故
 線形不良区間の連続
 などによる事故

現況課題③: 時間
 高次医療施設への搬
 送に長時間を要する

現況課題④: 渋滞
 交通集中による渋滞
 発生

「魅力あふれる圏域を支える広域道路ネットワークの構築」 に向けた**政策目標(案)**

災害に強い道路網
【防災】

災害時における代替ルート
 の確保により安全・安心な
 道路網を確保

安全な走行環境
【安全・安心】

生活交通や通過交通の
 安全な走行環境を確保

速達性の確保
【医療、物流】

救急搬送や物流効率化を
 支援するため速達性を確保

定時性の確保
【観光、物流】

長距離移動と短距離移動の
 交通を整流し定時性を確保

6 意見聴取範囲と方法

地域住民、各種団体の他、道路利用者(遠方からの利用者を含む)などから、神奈川と静岡の県境周辺地域の課題、交通網に期待する事について意見を幅広く聴取する。



調査	対象
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートが想定される5市町の全戸配布 (約14万戸) 【小田原市、真鶴町、湯河原町、熱海市、函南町】
道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBアンケート <ul style="list-style-type: none"> <WEBアンケート案内チラシ配布> ・周辺地域の「道の駅」「漁港の駅」など(地図上: 🏠 🚤) ・高速道路のSA/PA(地図上: SA PA) 東名(海老名SA、足柄SA、鮎川PA、中井PA)、新東名(駿河湾沼津SA) 小田原厚木道路(平塚PA、大磯PA、小田原PA)、西湘バイパス(西湘PA) <ul style="list-style-type: none"> <WEBアンケート案内チラシ配布> ・有料道路の料金所入口(地図上: 🚧) ターンハイク箱根、芦ノ湖スカイライン、湯河原パークウェイ、真鶴道路、熱海ビーチライン、伊豆スカイライン、伊豆中央道
	自治体
各種団体	<ul style="list-style-type: none"> 消防署、警察署、病院、商工会議所、トラック協会、観光協会、旅行業協会、農業協同組合、漁港協同組合、道の駅、道路管理者など

【配布方法 → 回収方法】 <期間:1ヶ月>

①配布アンケート(住民、自治体、各種団体)

対象世帯、対象施設へ郵送等により配布(回答用返信ハガキ封入)→ハガキ返送

②WEBアンケート(道路利用者)

県HPにてアンケート設置→WEBにて回答

道の駅やSA・PAに「WEBアンケート協力のお願い」チラシを設置、有料道路料金所にて配布<1日を想定>

6-1. 意見聴取範囲と方法<詳細>

調査	対象	配布・回答方法		調査票の種類	目的
住民	・概ねのルート帯が想定される5市町の全戸配布 (約14万戸) 【小田原市・真鶴町・湯河原町・熱海市・函南町】	配布型	配布: 日本郵便(株)のタウンプラスにて全戸郵送 回収: 返信用はがき又はWEBにて回答	住民アンケート	住民が感じている地域の課題などについて意見聴取する
道路利用者	・WEBアンケート	WEB	配布: QRコード又はURL、検索にてサイトアクセス 回収: WEBにて回答	道路利用者アンケート	車を運転する人から見た県境周辺地域に対する課題などを意見聴取する
	<WEBアンケート案内チラシ配布> ・周辺地域の「道の駅」、「漁港の駅」など ・高速道路のSA/PA →東名(海老名SA、足柄SA、鮎川PA、中井PA)・新東名(駿河湾沼津SA) 小田原厚木道路(平塚PA、大磯PA、小田原PA)・西湘バイパス(西湘PA)		配布: 各駅・SAPAIにWEBアンケート案内チラシを設置 回収: WEBにて回答		
	<WEBアンケート案内チラシ配布> ・有料道路の料金所入口 →ターンパイク箱根、芦ノ湖スカイライン、湯河原パークウェイ、真鶴道路 熱海ビーチライン、伊豆スカイライン、伊豆中央道		配布: 料金所にて料金所スタッフよりWEBアンケート案内チラシを手渡し※ 回収: WEBにて回答		
自治体	南足柄市、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町 沼津市、三島市、伊東市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、清水町、長泉町	配布型	配布: メール 回収: メール →その後必要であれば電話ヒアリングを行う	自治体アンケート	自治体からみて伊豆湘南道路の必要性や課題と感じていることについて意見聴取する
各種団体	小田原市消防本部、箱根町消防本部、湯河原町消防本部、熱海市消防本部、駿東伊豆消防本部、小田原警察署、熱海警察署、三島警察署、小田原市立病院、三島総合病院、順天堂大学付属静岡病院、沼津市立病院、小田原箱根商工会議所、南足柄市商工会、湯河原町商工会、真鶴町商工会、沼津市商工会、熱海商工会議所、三島商工会議所、伊東商工会議所、裾野市商工会、伊豆市商工会、伊豆の国市商工会、東伊豆町商工会、函南町商工会、清水町商工会、長泉町商工会、神奈川県トラック協会、静岡県トラック協会、日本観光協会、小田原市観光協会、南足柄市観光協会、箱根町観光協会、湯河原温泉観光協会、真鶴町観光協会、沼津観光協会、熱海市観光協会、三島市観光協会、伊東観光協会、裾野市観光協会、伊豆市観光協会、美しい伊豆創造センター、伊豆の国市観光協会、東伊豆町観光協会、函南町観光協会、清水町観光協会、ながいずみ観光交流協会、全国旅行協議会、日本旅行協議会、JA神奈川西湘、JAなんすん、JAあいら伊豆、JA三島函南、JA函南東部、JA伊豆の国、JA伊豆太陽、小田原市漁協、岩漁協、真鶴漁協、福浦漁協、沼津我入道漁協、大熱海漁協、いとう漁協、伊豆漁協、戸田漁協、内浦漁協、静浦漁協、漁港の駅TOTO小田原、道の駅足柄・金太郎のふるさと、箱根峠、伊豆ゲートウェイ函南、伊東マリンタウン、くるら戸田、伊豆月ヶ瀬、天城越え、伊豆のへそ、箱根ターンパイク株式会社、芦ノ湖スカイライン株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社(湯河原パークウェイ)、神奈川県道路公社(真鶴道路)、株式会社グランビスタホテル&リゾート(熱海ビーチライン)、静岡県道路公社(伊豆スカイライン)	配布型	配布: 対象団体へ配布(郵送、メール、手渡し等) 回収: 返信用紙又はWEBにて回答 →その後必要であれば電話ヒアリングを行う	各種団体アンケート	各種団体からみて伊豆湘南道路の必要性や課題と感じていることについて意見聴取する

広報	掲載先
各市町広報誌	・小田原・真鶴町・湯河原町・熱海市・函南町
ポスター	各市町役場、商業施設

※特定の日を指定し、各料金所の指定枚数が無くなるまで配布してもらう

6-1. 意見聴取内容(住民アンケート・道路利用者アンケート・WEBアンケート)

【目的】

道路利用者や一般住民から見た伊豆湘南地域交通網の弱点や将来像を確認し、当該路線計画へ反映させるための意見聴取

調査項目	アンケート内容	回答
一般事項	住所 性別 年齢 職業	「 県 市・町」 「男、女、その他」 「10代、20代、30代、40代、50代、60代、70歳以上」 「会社員、公務員、自営業、専業主婦・主夫、学生、無職」
利用状況について	問1 ■神奈川と静岡の県境をまたぐ周辺道路(国道1号・135号や熱函道路など)を利用しますか又は利用したことがありますか ■「ある」と答えた方、主に利用する目的は何ですか ■主な目的地はどこですか	「ある、ない」 「仕事、通勤・通学、日常的な買い物・通院、観光・レジャー、その他()」 「 県 市・町」
課題について	問2 神奈川と静岡の県境周辺の道路(国道1号・135号や熱函道路など)の課題として考えられる次の①～④の項目を4段階評価し、必要に応じ⑤、⑥をご記入ください。 ①災害に代わりとなる道路がないこと ②交通事故が多いこと ③規格の高い道路が少なく時間がかかること ④渋滞により到着時間が読めないこと ⑤その他() ⑥課題はない	4段階評価 「4:強くそう思う」 「3:どちらかというと思う」 「2:どちらかというと思わない」 「1:まったく思わない」
期待することについて	問3 神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)に期待することは何ですか。以下の①～⑤の項目を4段階評価し、必要に応じ⑥、⑦をご記入ください。 ①災害に強い道路であること ②周辺道路の事故が減少すること ③所要時間が短縮されること ④到着時間が読めること ⑤観光振興など地域の活性化に寄与すること ⑥その他() ⑦期待することはない	4段階評価 「4:強くそう思う」 「3:どちらかというと思う」 「2:どちらかというと思わない」 「1:まったく思わない」
その他意見	問4 神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)の検討を行うにあたって、ご意見やご要望等がありましたらお聞かせください。	(自由回答)

6-2. 配布・回答方法 ①配布アンケート ②WEBアンケート

① 配布アンケート

【配布方法】

説明資料「アンケートの答え方・伊豆湘南道路の概要」、
回答用紙「はがき」を封入し配布する

➤ 全戸配布 : 郵便局の「タウンプラス」にて対象エリアに送付

※タウンプラス: 指定した地域へ宛名記入なしで配達可能なサービス



【回答方法】

封筒に入っている回答用紙(はがき)又はWEBにより回答してもらう

② WEBアンケート

【配布方法】

道の駅やSA/PAにポスターやアンケートチラシを設置する
有料道路入口にてアンケートチラシを配布する



【回答方法】

県HPにてアンケートページを設けWEB画面上にて回答いただく

6-2. 配布・回答方法 ②WEBアンケートサンプルページ

② WEBアンケート サンプルページ



静岡県

【テスト環境】ふじのくに 電子申請サービス(住民側)

様式管理

プレビュー【神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)の計画に関するアンケート調査】

【神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)の計画に関するアンケート調査】

※印があるものは必須です。
▲印は選択肢の結果によって入力条件が変わります。

■ アンケート調査の目的

本アンケートは、神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)を検討するにあたり、計画づくりの初期段階から、皆様の御意見をお聞かせいただくために実施するものです。

※神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)
静岡県伊豆地域と神奈川県西部地域を結ぶ新たな道路構想です。
平成30年の台風12号の被災などを踏まえ、令和2年度から神奈川・静岡県間で計画づくりを進めています。

○ で囲んだ地域
(神奈川と静岡の県境周辺)
の道路に関するアンケート

■ 問1 あなた自身についてお答えください

お住まいの「市区町村」名 ※ 市・区・町・村

性別 ※ 男性
 女性
 その他

年齢 ※ 10代
 20代
 30代
 40代
 50代
 60代
 70代以上

会社員

職業 ※ 公務員
 自営業
 専業主婦・主夫
 学生
 無職

選択解除

神奈川・静岡の県境周辺の道路を利用したことがありますか? ※ ある
 ない

選択解除

主に利用する目的は? ▲ 通勤・通学
 仕事
 買い物
 通院
 観光・レジャー
 その他

選択解除

主な目的地は? ▲

入力文字数: 0/100

■ 【神奈川と静岡の県境周辺道路についてお聞かせください】

■ 問2 県境周辺道路(国道1号・135号や熱函道路などの「課題」について4段階評価してください

問2-1 災害時などに代わりになる道路がないこと 4 強く思う
 3 どちらかというと思う
 2 どちらかというと思わない
 1 全く思わない

問2-2 高低差やカーブが多く、交通事故が多いこと 4 強く思う
 3 どちらかというと思う
 2 どちらかというと思わない
 1 全く思わない

問2-3 規格の高い道路が少なく所要時間がかかること 4 強く思う
 3 どちらかというと思う
 2 どちらかというと思わない
 1 全く思わない

問2-4 渋滞により目的地への到着時間が読めないこと 4 強く思う
 3 どちらかというと思う
 2 どちらかというと思わない
 1 全く思わない

問2-5 その他の課題(自由回答)

入力文字数: 0/100

■ 問3 県境周辺道路に「期待すること」について4段階評価してください

問3-1 災害に強い道路であること 4 強く思う
 3 どちらかというと思う
 2 どちらかというと思わない

神奈川と静岡の県境エリアにおける課題

災害 災害等により通行止めとなってしまう

国道1号は積雪、国道135号は津波や高波などにより、道路が寸断され、地域住民の生活に支障をきたすことが予想されます。

大雨規制区間

国道135号 高波の状況

高波の状況

高波による堆積物(通行止め)

高波に流された緊急車両

平成30年の台風では、国道135号が長期間にわたり通行止めとなった

事故 重大な交通事故が発生してしまう

神奈川と静岡の県境周辺地域の道路は、急な坂道やカーブで走りにくいなど線形不良区間が連続しており、重大事故及び死傷事故が多い区間があります。

交通事故が多数発生している

小田原～箱根峠 47件

小田原～湯河原間 49件

湯河原～熱海市街地 41件

熱海函南線(静岡県道11号) 40件

事故件数:平成30年1年間のデータ

国道135号 事故状況

熱海函南線 事故状況

医療搬送 医療施設への搬送に時間がかかってしまう

神奈川・静岡の県境周辺地域では、規格の高い道路が少ないことなどにより、救急医療施設への搬送が30分以上要するエリアが多くなっています。

全国平均病院収容時間 (H29) 39分30秒

通報 → 救急到着 → 救急搬送 → 病院収容

当該地域には救急搬送時間のみで約40分かかる場所がある 救急搬送のみで約40分

通報 → 救急到着 → 救急搬送 → 病院収容

特に真鶴町、湯河原町、熱海市内においては大きな病院までの搬送に時間がかかる地区が多い

※規格の高い道路とは、カーブや勾配が緩やかで一般的な道路よりも、高速で走ることができる道路

渋滞 季節・時間帯によって渋滞が発生してしまう

国道135号は、時間帯・季節帯によって著しい渋滞が発生しており、到着時間のばらつきが大きくなっています。

小田原市～熱海市の所要時間

平日 73分 (伊豆の国市～伊豆市) / 40分 (伊豆市～熱海市)

週末 41分 (伊豆の国市～伊豆市) / 32分 (伊豆市～熱海市)

32分

百瀬バイパスと国道135号の合流

国道135号(熱海市)

国道135号の休日平均速度

8月が最も速度低下

ETCのプローブ情報 (H25～H30.3休日) 原則126平均旅行速度

渋滞により到着時間が読めない

6-3. アンケート票(案)

(表面)

郵便はがき

料
金
受
取
人
払
郵
便

横浜港局
承認
7100

2 3 1 8 7 8 8

神奈川県横浜市中区
日本大通1

神奈川県
道路部道路企画課 行

差出有効期間
令和3年9月
30日まで
(切手不要)

神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)
に関するアンケート調査

こちらからWEB上でも御回答いただけます ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

https://bit.ly/3g5kCoR

WEBで御回答いただきましたら、このはがきは破棄願います。

あなた自身についてお聞かせください

住所	()県()市・町
性別	<input type="checkbox"/> 1: 男性 <input type="checkbox"/> 2: 女性 <input type="checkbox"/> 3: その他
年齢	<input type="checkbox"/> 1: 10代 <input type="checkbox"/> 2: 20代 <input type="checkbox"/> 3: 30代 <input type="checkbox"/> 4: 40代 <input type="checkbox"/> 5: 50代 <input type="checkbox"/> 6: 60代 <input type="checkbox"/> 7: 70代以上
職業	<input type="checkbox"/> 1: 会社員 <input type="checkbox"/> 2: 公務員 <input type="checkbox"/> 3: 自営業 <input type="checkbox"/> 4: 専業主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 5: 学生 <input type="checkbox"/> 6: 無職

裏面のアンケートにお答えください。

(裏面)

神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)について

問1 神奈川と静岡の県境周辺道路(国道1号・135号や熱函道路など)を利用しますか又は利用したことがありますか ある ない

「ある」と答えた方への質問 ↓

主に利用する 目的は何ですか	<input type="checkbox"/> 1: 通勤・通学 <input type="checkbox"/> 2: 仕事 <input type="checkbox"/> 3: 日常の買い物・通院 <input type="checkbox"/> 4: 観光・レジャー <input type="checkbox"/> 5: その他()
主な目的地は どこですか	()県()市・町

問2
神奈川と静岡の県境周辺の道路(国道1号・135号や熱函道路など)の課題として考えられる次の①～④の項目を4段階評価し、必要に応じ⑤、⑥をご記入ください。【4段階評価】
4: 強くそう思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: 全くそう思わない

課題事項	あなたの評価の程度			
①災害時などに代わりになる道路がないこと	4	3	2	1
②高低差やカーブが多く、交通事故が多いこと	4	3	2	1
③規格の高い道路が少なく所要時間がかかること	4	3	2	1
④渋滞により目的地への到着時間が読めないこと	4	3	2	1
⑤その他()	4	3	2	1
⑥課題はない	4	-	-	-

問3
神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)に期待することは何ですか。次の①～⑤の項目を4段階評価し、必要に応じ⑥、⑦をご記入ください。【4段階評価】
4: 強くそう思う 3: どちらかというと思う 2: どちらかというと思わない 1: 全くそう思わない

期待事項	あなたの評価の程度			
①災害に強い道路であること	4	3	2	1
②周辺道路の事故が減少すること	4	3	2	1
③移動時間が短縮されること	4	3	2	1
④到着時間が読めること	4	3	2	1
⑤観光振興など地域の活性化に寄与すること	4	3	2	1
⑥その他()	4	3	2	1
⑦期待することはない	4	-	-	-

問4 神奈川と静岡の県境をまたぐ道路(伊豆湘南道路)の検討を行うにあたり、御意見や御要望等がありましたらお聞かせください。

御協力ありがとうございました

住民アンケート・道路利用者アンケート(道の駅・有料道路料金所配布など)